

**2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

2023年2月7日

上場会社名 三井倉庫ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9302

 URL <https://www.mitsui-soko.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古賀 博文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理担当 (氏名) 松井 博文 TEL 03-6400-8006

四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

**1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）**
**（1）連結経営成績（累計）**

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	234,317	8.1	21,338	17.6	22,115	21.3	13,191	27.9
2022年3月期第3四半期	216,769	16.0	18,137	34.4	18,227	35.1	10,309	30.1

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 17,073百万円（25.4％） 2022年3月期第3四半期 13,612百万円（5.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	530.57	—
2022年3月期第3四半期	415.12	—

**（2）連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	259,912	99,823	34.5
2022年3月期	258,297	88,631	30.8

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 89,743百万円 2022年3月期 79,458百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	94.00	129.00
2023年3月期	—	72.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	115.00	187.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年2月7日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」及び添付資料4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

**3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）**

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,500	1.5	26,000	0.2	26,400	3.3	15,500	6.9	623.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	24,921,802株	2022年3月期	24,883,002株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	46,770株	2022年3月期	46,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	24,862,167株	2022年3月期3Q	24,836,326株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、（添付資料）4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（累計）の決算の概要は次のとおりであります。

（単位：百万円）

連結合計	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	増減率
営業収益	216,769	234,317	17,547	8.1%
営業利益	18,137	21,338	3,200	17.6%
経常利益	18,227	22,115	3,887	21.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,309	13,191	2,881	27.9%

- ・営業収益及び全ての段階利益において前年同期比増収増益となりました。
- ・世界的なサプライチェーン混乱の影響が残るなか、経済社会活動の再開の動きが継続しております。このような環境のなかで、当社は急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、代替輸送ルートや物流の効率化提案を行いました。この結果、新規顧客を獲得したほか、既存顧客の受託範囲が拡大し、フォワーディング業務の取扱が増加しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## (イ) 物流事業

（単位：百万円）

物流事業	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	増減率
営業収益	210,243	227,785	17,542	8.3%
営業利益	16,381	19,622	3,240	19.8%

事業環境：当社を取り巻く事業環境は次のとおりであります。

- ・ウクライナ情勢の長期化、及び世界的な労働需給逼迫とエネルギー調達コストの高止まり、円安の進行を背景とした物価の上昇が、企業の素原材料・部品の調達の制約となっております。
- ・一方で、経済社会活動の再開に伴い、企業の生産活動は一進一退ながら緩やかな持ち直しの動きが続いております。
- ・海上コンテナ不足等の海運市況の混乱や、航空旅客便の減便に伴う貨物スペースの供給制約は解消に向かいつつあります。海上・航空輸送スペースの供給不足、及び運賃の高騰は、引き続きコロナ禍前を上回る水準で推移しているものの、足元では落ち着きを見せております。

営業の状況：当社の営業活動の状況は次のとおりであります。

- ・サプライチェーン混乱の影響を受けて急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、機動的なスペースの確保を行いフォワーディング業務の取扱が増加しました。
- ・顧客に対し以下の提案活動を行った結果、新規顧客を獲得したほか、既存顧客の受託範囲が拡大し、海外物流及びフォワーディング業務の取扱が増加しました。
  - 顧客のBCP対応に資する代替輸送ルート提案
  - 環境負荷低減のための物流ソリューション提案
  - 海外現地の物流から国際輸送、国内における輸配送までを一気通貫で提供する物流の効率化提案
- ・前期に立ち上げたヘルスケア物流専用の新設倉庫や、同じく前期に立ち上げた家電量販店・EC向けの新設物流センターの通期寄与による業務拡大がありました。

## (ロ) 不動産事業

（単位：百万円）

不動産事業	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	増減率
営業収益	7,087	7,140	52	0.7%
営業利益	4,295	4,393	97	2.3%

事業環境：当社を取り巻く事業環境は次のとおりであります。

- ・東京ビジネス地区のオフィス物件の平均空室率、及び平均賃料は概ね横ばいで推移しました。

営業の状況：当社の営業活動の状況は次のとおりであります。

- ・当社所有のオフィス物件の空室率及び賃料水準に大きな変動はなく、営業収益、営業利益ともに横ばいとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の変動状況

(単位：百万円)

連結合計	前期末	当第3四半期末	前期末比	増減率
自己資本	79,458	89,743	10,284	12.9%
総資産	258,297	259,912	1,615	0.6%
自己資本比率	30.8%	34.5%	+3.8ポイント	12.2%
有利子負債	99,394	94,714	△4,680	△4.7%
D/Eレシオ	1.25	1.06	△0.20	△15.6%

- ・自己資本が増加した要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。
- ・総資産が増加した要因は、主に現預金の増加によるものです。
- ・有利子負債が減少した要因は、借入金の返済によるものです。
- ・引き続き、D/Eレシオが1.0倍程度となるよう運用する方針です。

## ②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

連結合計	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	22,718	22,822	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,649	26,088	12,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,929	△3,993	1,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,516	△13,771	△8,254
現金及び現金同等物の期末残高	24,987	31,393	-

当第3四半期のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上による資金留保、及び売上債権の減少です。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、DX戦略に基づくソフトウェア投資と、物流施設の維持更新投資です。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、借入金の返済、及び配当金の支払です。

## ③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2021年12月 第3四半期	2022年 3月期	2022年12月 第3四半期
自己資本比率 (%)	26.3	28.8	30.8	34.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.6	24.5	24.1	34.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.2	5.9	4.3	2.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.2	24.1	27.1	43.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第3四半期では4/3倍して算出しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ア. 2023年3月期の通期業績予想の修正について

海運市況の混乱に伴う海上輸送から航空輸送へのシフトや、航空・海上運賃高止まりによる影響（以下、「特殊要因」）は収束に向かっておりますが、前回予想時の想定よりも収束のペースが緩やかに推移していることや、顧客ニーズを的確に捉えた機動的なスペース確保と仕入コストのコントロールにより、特殊要因における取扱量と利益が想定以上に増加する見通しとなりました。また、燃料費・電気代や人件費の上昇といったコスト増加影響はあるものの、為替円安影響や、収受料金の適正化及び物流ソリューション営業を通じた取扱量や受託範囲の拡大等により、特殊要因を除く実力値においても前回予想を上回る見通しとなったことから、通期連結業績予想を修正いたしました。

[2023年3月期 通期（2022年4月1日～2023年3月31日）連結業績予想]

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
①前回発表予想	305,000	24,500	24,900	15,000	603.25
②今回修正予想	305,500	26,000	26,400	15,500	623.36
③増減額 ②－①	500	1,500	1,500	500	－
④増減率 ③／①	0.2%	6.1%	6.0%	3.3%	－
参考：前年同期実績 (2022年3月期 通期)	301,022	25,939	25,553	14,503	583.98

連結営業利益における通期業績予想と本修正における差異の概要（単位：億円）

	実力値	特殊要因	合計
2022年11月4日公表 通期業績予想	212	33	245
特殊要因（海上輸送から航空輸送へのシフト、航空・海上運賃高止まり 影響）	－	+12	+12
為替影響	+1	－	+1
その他	+2	－	+2
本修正における通期業績予想	215	45	260
参考：前年同期実績	170	89	259

## イ. 2023年3月期の期末配当予想の修正について

当社グループは、「中期経営計画2022」（2023年3月期～2027年3月期）において、連結配当性向30%を基準とする業績に連動した機動的な配当を実施する方針としております。

今回、上記ア. のとおり2023年3月期の業績予想を修正したことに伴い、配当方針に沿って通期の連結配当性向が30%程度となるよう1株当たり配当金の配当予想を修正するものであります。

[2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）期末配当予想額]

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年11月4日発表)	円 銭 －	円 銭 109.00	円 銭 181.00
今回修正予想	－	115.00	187.00
当期実績	72.00	－	－
前期実績（2022年3月期）	35.00	94.00	129.00

（注）上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,109	31,674
受取手形、営業未収金及び契約資産	41,155	35,521
棚卸資産	2,045	2,409
その他	11,112	9,431
貸倒引当金	△67	△60
流動資産合計	77,354	78,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,609	71,674
土地	56,496	56,591
その他（純額）	9,387	11,041
有形固定資産合計	139,493	139,307
無形固定資産		
のれん	1,917	1,690
その他	6,783	8,273
無形固定資産合計	8,700	9,964
投資その他の資産		
投資有価証券	9,883	10,758
その他	23,468	21,501
貸倒引当金	△603	△596
投資その他の資産合計	32,748	31,664
固定資産合計	180,942	180,935
資産合計	258,297	259,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,604	19,389
短期借入金	2,049	951
1年内返済予定の長期借入金	9,630	7,714
未払法人税等	4,631	1,690
賞与引当金	3,863	2,047
その他	22,663	25,447
流動負債合計	65,441	57,241
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	57,317	53,311
退職給付に係る負債	6,562	6,555
その他	15,343	17,981
固定負債合計	104,224	102,847
負債合計	169,666	160,089
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,100	11,156
資本剰余金	5,548	5,603
利益剰余金	52,752	61,818
自己株式	△103	△103
株主資本合計	69,298	78,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,568	4,142
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	4,665	5,712
退職給付に係る調整累計額	1,924	1,415
その他の包括利益累計額合計	10,159	11,268
非支配株主持分	9,172	10,079
純資産合計	88,631	99,823
負債純資産合計	258,297	259,912



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	26,431	28,589
倉庫荷役料	23,642	25,501
港湾作業料	12,839	13,503
運送収入	114,656	124,460
不動産収入	6,525	6,531
その他	32,673	35,731
営業収益合計	216,769	234,317
<b>営業原価</b>		
作業直接費	110,977	118,415
賃借料	14,718	15,216
減価償却費	5,427	6,001
給料及び手当	27,369	28,490
その他	27,001	31,168
営業原価合計	185,494	199,291
営業総利益	31,274	35,025
<b>販売費及び一般管理費</b>		
減価償却費	939	1,080
報酬及び給料手当	6,280	6,405
のれん償却額	538	265
その他	5,378	5,936
販売費及び一般管理費合計	13,137	13,687
営業利益	18,137	21,338
<b>営業外収益</b>		
受取利息	89	190
受取配当金	305	348
為替差益	7	395
持分法による投資利益	242	340
その他	477	531
営業外収益合計	1,123	1,807
<b>営業外費用</b>		
支払利息	653	667
支払手数料	50	55
固定資産除却損	96	41
その他	232	265
営業外費用合計	1,032	1,030
経常利益	18,227	22,115
<b>特別利益</b>		
退職給付信託返還益	—	496
特別利益合計	—	496
税金等調整前四半期純利益	18,227	22,611
法人税等	5,758	6,893
四半期純利益	12,469	15,718
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,159	2,526
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,309	13,191

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	12,469	15,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	574
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	1,045	1,327
退職給付に係る調整額	115	△498
持分法適用会社に対する持分相当額	324	△43
その他の包括利益合計	1,142	1,355
四半期包括利益	13,612	17,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,429	14,299
非支配株主に係る四半期包括利益	2,182	2,773

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,227	22,611
減価償却費	6,366	7,082
のれん償却額	538	265
退職給付信託返還益	—	△496
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,685	△1,828
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△81	△17
受取利息及び受取配当金	△394	△539
支払利息	653	667
持分法による投資損益 (△は益)	△242	△340
有形固定資産売却損益 (△は益)	△15	△54
固定資産除却損	96	41
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△4,090	6,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,056	△3,500
その他	1,792	2,948
小計	23,209	33,120
利息及び配当金の受取額	582	810
利息の支払額	△565	△598
法人税等の支払額	△9,577	△7,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,649	26,088
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,722	△2,073
有形固定資産の売却による収入	54	81
無形固定資産の取得による支出	△1,402	△2,009
無形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△117	△18
投資有価証券の売却による収入	47	—
貸付けによる支出	△5	△14
貸付金の回収による収入	8	37
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	206	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,929	△3,993
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	99,023	73,857
短期借入金の返済による支出	△94,500	△75,172
長期借入れによる収入	3,000	1
長期借入金の返済による支出	△10,399	△5,990
配当金の支払額	△1,614	△4,125
非支配株主への配当金の支払額	△767	△2,111
その他	△259	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,516	△13,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	248
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,269	8,571
現金及び現金同等物の期首残高	22,718	22,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,987	31,393

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	210,243	6,525	216,769	—	216,769
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	561	561	(561)	—
計	210,243	7,087	217,331	(561)	216,769
セグメント営業利益	16,381	4,295	20,676	(2,539)	18,137

(注)1. セグメント利益の調整額△2,539百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	227,785	6,531	234,317	—	234,317
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	608	608	(608)	—
計	227,785	7,140	234,925	(608)	234,317
セグメント営業利益	19,622	4,393	24,015	(2,677)	21,338

(注)1. セグメント利益の調整額△2,677百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

2023年3月期 第3四半期決算参考資料

## 1. 経営成績の概要(連結)

(単位:百万円)

	第3四半期(4月1日~12月31日)				通期(4月1日~3月31日)			
	2022年 3月期	2023年 3月期	増減		2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減	
			金額	率(%)			金額	率(%)
営業収益	216,769	234,317	17,547	8.1	301,022	305,500	4,477	1.5
営業利益	18,137	21,338	3,200	17.6	25,939	26,000	60	0.2
経常利益	18,227	22,115	3,887	21.3	25,553	26,400	846	3.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,309	13,191	2,881	27.9	14,503	15,500	996	6.9

## 2. 財政状態(連結)

(単位:百万円)

	2022年 3月末	2022年 12月末	増減	
			金額ほか	率(%)
自己資本	79,458	89,743	10,284	12.9
総資産	258,297	259,912	1,615	0.6
自己資本比率	30.8%	34.5%	+3.8ポイント	12.2
D/Eレシオ	1.25	1.06	△0.20	△15.6

## 3. 減価償却の状況(連結)

(単位:百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	2022年3月期
減価償却費	6,366	7,082	715	8,721

## 4. 有利子負債残高(連結)

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年12月末	増減
社債	25,000	25,000	—
借入金	68,996	61,977	△7,019
リース債務	5,397	7,736	2,338
合計	99,394	94,714	△4,680

## 5. セグメント情報(連結)

&lt;営業収益&gt;

(単位:百万円)

	前年同期 実績	当第3四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	210,243	227,785	296,600	292,213
不動産事業	7,087	7,140	9,600	9,574
合計	217,331	234,925	306,200	301,788
調整額	△561	△608	△700	△765
連結損益計算書計上額	216,769	234,317	305,500	301,022

&lt;営業利益&gt;

(単位:百万円)

	前年同期 実績	当第3四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	16,381	19,622	24,100	23,734
不動産事業	4,295	4,393	5,800	5,798
合計	20,676	24,015	29,900	29,532
調整額	△2,539	△2,677	△3,900	△3,593
連結損益計算書計上額	18,137	21,338	26,000	25,939